

臨床研究に関するお知らせ（1023）

【研究課題名】

食道癌術前化学療法 FP における制吐薬が腎機能に及ぼす影響の既存診療情報を利用した後方視的調査

【内容】

食道癌術前化学療法 FP では高用量のシスプラチンを用いますが、高頻度に発現する食欲不振や腎障害といった副作用が、しばしば問題になります。

そこで昨年、FP 療法における制吐薬を段階的に改定しました。その結果、制吐薬の違いが腎機能に影響を与える可能性が考えられたため、それらを明らかにすることを目的として調査研究を実施します。

【対象】

2008 年 4 月から 2011 年 3 月の期間中に、胃腸外科で FP 療法を受けた方が対象となります。（FP 療法は、食道癌の術前に 5 日間行われる、シスプラチンとフルオロウラシルという抗癌剤を 2 剤併用した治療をさします。通常、術前に 2 クール行います。）

【方法】

カルテ情報の調査を行い、食欲不振と腎機能の関係を調査します。

参加を希望されない場合には、2011 年 7 月 31 日までに金沢大学附属病院薬剤部 崔（さい）までお知らせください。

なお、本研究への参加は自由意思です。期間内であれば、参加を拒否・撤回することが可能です。また、これによって患者様が不利な扱いを受けることはありません。

2011 年 2 月

金沢大学附属病院薬剤部
研究実施責任者 崔 吉道

電話 076-265-2046 (直通)